

いじめの重大化を防ぐための課題予防的生徒指導に向けて



令和7年11月に、こども家庭庁・文部科学省より「いじめの重大化を防ぐための留意事項集」と「いじめの重大化を防ぐための研修用事例集」が紹介されました。いじめの重大化を防ぐために、子どもたちの小さなサインを見逃さず、組織的に対応するための留意事項や、事例を基に校内研修や学年会等で研修ができる内容となっておりますので、ぜひご活用ください。

いじめの重大化を防ぐための
留意事項集

令和7年11月
こども家庭庁
文部科学省



こども家庭庁ホームページ「いじめの重大化要因等の分析・検討会議」
<https://www.cfa.go.jp/councils/ijime-judaikayoin>

15の留意事項 ※一部紹介

- いじめの重大化を防ぐための対応
 - 【1-1】児童生徒の言葉の聴き取りと深い理解に基づく対応
 - 【1-2】言葉以外のサインの察知
 - 【1-3】特別な支援を必要とする児童生徒に対する理解
 - 【1-4】特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援
 - 【1-5】児童生徒が傍観者にならないための環境づくり
- いじめの重大化につながり得る要素・特徴
 - 【2-1】教職員の学級環境、児童生徒間トラブルへの慣れ
 - 【2-2】進級・進学、転校等の環境の変化
 - 【2-3】交際関係の開始・解消、性的ないじめ

等

等



各留意事項は、概要、調査報告書から読み取ることができたいじめの重大化のプロセス、対応のポイント、チェック項目から構成されています。

いじめの重大化を防ぐための
研修用事例集

令和7年11月
こども家庭庁
文部科学省



こども家庭庁ホームページ「いじめの重大化要因等の分析・検討会議」
<https://www.cfa.go.jp/councils/ijime-judaikayoin>

事例一覧

- 小学校教職員向け
 - 事例① 発達特性によるコミュニケーションの行き違いから生じたいじめ事案
 - 事例② 地域で気付かれたサインと学校の対応のずれ
- 中学校教職員向け
 - 事例③ 担任の思い込みと聴き取り不足による対応の遅れ
 - 事例④ 進学直前に起きたSNSいじめと学校の対応
- 高等学校教職員向け
 - 事例⑤ 部活動の閉鎖的な環境におけるいじめ事案
 - 事例⑥ 固定化した人間関係における性的ないじめと学校の対応



各事例は、ワークシート、想定される回答例、解説で構成されています。

事例検討会の研修の展開例

各自で事例を読み、
ワークシート①に
「気になった点」を
記入する。

個人

①に記載した点に
ついて、自分だった
らどうするか考え、
ワークシート②に記
入する。

個人

①や②を基に、各自の考え
を交流し、ワークシート③の
いじめの重大化を防ぐため
に学校としてどうしたらよい
かという視点で協議する。

グループ

協議を振り返り、
自校のいじめ対策に
何が必要かを考え、
ワークシート③に記
入する。

個人



事例を活用した研修の場では、単に感想を言い合うだけでなく、参加者の気付きを促したり、行動変容につなげたりできるように、**ファシリテーター**の存在が必要です。

【導入時のポイント】

- ・誰の発言に対しても批判・非難しないというルールを示し、安全・安心な場を確保する。
- ・最終的には「自校のいじめ対策に何が必要かを考える」というゴールイメージを開始時に共有し、参加者に見通しを持たせる。

【進行時のポイント】

- ・考えを発表する場を設定し、同様の意見を挙手で確認したり、質問したりすることで、対策のポイントや新たな発見に気付くことができるようにする。
- ・振り返りでは、協議で出た意見を参考に、具体的な行動目標が立てられるよう助言する。